

立間川水系 河川流域懇談会の開催結果（概要）

日 時：令和 2 年 11 月 27 日（金） 18 時 30 分～19 時 15 分

場 所：吉田公民館大ホール

出席者：関係分野の代表者 36 名（自治会長, 事業関係者, 農業関係者, 消防関係者, 学校関係者等）

1. 開会挨拶

（挨拶：南予地方局河川港湾課長）

概要

河川法において、河川を整備する場合には、地域にお住まいの皆様の見解をお聴きして、その意見をできる限り反映した整備計画を作成するようになっておりますので、現在、作成を進めている立間川水系河川整備計画においても、本日、河川流域懇談会を開催させていただくことになりました。

皆様にお示しする整備計画の案では、平成 30 年 7 月豪雨規模の雨が降った場合においても浸水被害を軽減させることなどを考えておりますが、概ね 20 年～30 年の整備期間を要することになります。

県としましては、1 日も早く立間川水系の治水安全度を向上させ、宇和島市とともに、地域の皆様と一緒に安心して暮らせる街づくりを進めて参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いたします。

2. 立間川水系河川整備計画案の説明

※パワーポイント及び配布資料により計画案を説明。

（説明：南予地方局河川港湾課災害グループ）

概要

概ね 20～30 年間で人口・資産が集中する中心市街地の浸水被害の軽減を図る河川整備計画案であり、まずは、最初の概ね 10 年間で、国安川の石神橋（複数橋脚による流下阻害）と営繕前橋（桁下高不足による流下阻害）を統廃合して、ボトルネック箇所の解消を図るとともに、国安川と河内川で特殊堤（パラペット）を整備し、河道断面を拡幅する。あわせて、パラペット整備による堤防高の増高に伴い水門の改築を実施する。次の概ね 10～20 年間で、立間川のボトルネック箇所の解消及び河道断面の拡幅を進める予定としている。

3. 質疑

<主な質疑>

Q 平成 30 年 7 月豪雨の時、中番所橋上流の北小路 1 区で河川氾濫（15～20cm 程度溢水）があったことを把握しているか。

A （南予地方局河川港湾課）

平成 30 年 7 月豪雨当日の発災直後の細かい浸水状況までは確認できていないが、現地調査を平成 30 年 7 月 11 日に実施して、洪水痕跡は把握している。

Q 河床掘削を実施しているが、中番所橋付近は実施しておらず河床が高い状況となっている。河床掘削方法として妥当なのか。

A (南予地方局河川港湾課)

河床掘削については、下流から全域を一気に進めることができず、対策優先度の高い箇所から進めているため、部分的に高いところもあるのが現状である。

地元要望も把握しており、毎年対策できるかどうかはわからないが、次年度以降も河床掘削を進めていけるよう予算要望を本課へ上げている。

Q 石神橋と営繕前橋の統廃合とあるが、統廃合後の設置位置はどこか。石神橋が避難経路となっていることから、早めに周知いただきたい。

A (南予地方局河川港湾課)

統廃合後の橋梁位置は、検討中であり、宇和島市および地元の方と調整しながら決めていきたい。位置が決まれば、早い段階で地元周知するようにする。

Q 平成30年7月豪雨は小潮であったが、大潮のときにはどうなるのか。

A (南予地方局河川港湾課)

大潮時と小潮時の両方を想定して平成30年7月豪雨を再現した降雨モデルを使った浸水シミュレーションを実施しているが、平成30年7月豪雨規模になると雨量が非常に大きいため、大潮時と小潮時で浸水範囲と浸水深のシミュレーション結果に大きな違いはないことを確認している。

(河川流域懇談会の質問回答時に使用した資料を次ページに掲載)

また、大潮時を想定した浸水シミュレーション(説明資料のP36~38)では、整備段階毎に中心市街地の浸水範囲が大幅に減少する結果であり、浸水被害の軽減は図れるものと考えている。

ただし、このシミュレーションは、平成30年7月豪雨を再現した降雨モデルであるため、時間雨量100mm超の雨が数時間降るなど、降雨の規模や降り方によっては浸水被害が発生する恐れがあることをご認識いただきたい。

4. 今後の予定

今回、皆様から頂いた意見なども踏まえまして、学識経験者などの専門家の意見を聴き、河川整備計画(案)を決定します。その後、宇和島市長の意見を聴いたのち、国土交通省の同意・認可を得て、河川整備計画の策定・公表の運びになります。

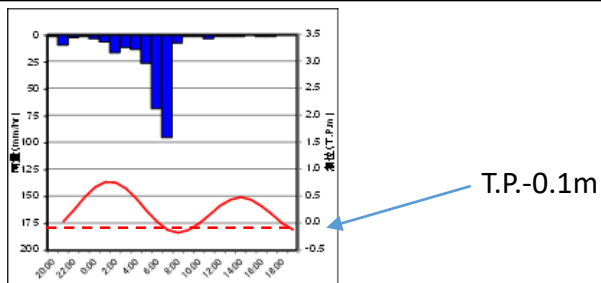
河川整備計画が策定できましたら、今後、国の補助事業採択を受け、立間川水系の河川改修事業の本格的な設計に着手していく予定です。

5. 閉会挨拶 (南予地方局河川港湾課長)

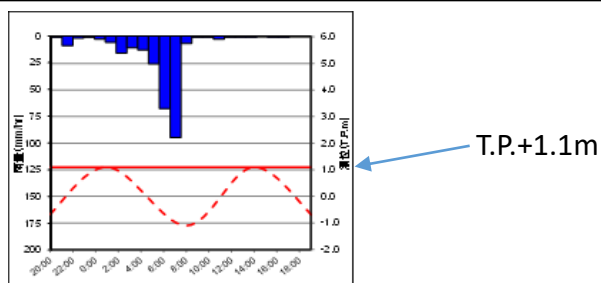
氾濫要因分析（潮位の影響による比較）

降雨：平成30年7月豪雨（奥南96mm/hr）

H30. 7豪雨時の実績潮位
（ピーク時（T.P. -0.1m））



朔望平均満潮位
（T.P. +1.1m）



朔望平均干潮位
（T.P. -1.1m）

